

平成18年度 施策評価表

所属 2120000
都市整備部 街づ推進課

施策	0924 駅周辺等拠点の形成						
区分							
対象	地域内の居住者、商業・業務従事者、来訪者、各駅及びその周辺利用者、再開発等権利者						
施策意図	駅周辺等が、住み、働き、憩う、賑わいのある拠点になっている						
現状と課題	バブル経済の崩壊以降、地価の横ばい状況や先行き不透明な景気動向など、相変わらず事業推進上厳しい状況が続いている。このことが権利者等の事業に対する不安要因ともなっており、合意形成を困難にしている。						
成果指標	指標1 駅周辺等の整備計画進捗状況割合（当該年度事業完了割合÷当該年度計画） 目標：21年度 41.7% 指標2 駅周辺が住み、働き、憩う、賑わいのある拠点になっていると思う区民の割合（マーケティング調査） 目標：21年度 28.7%						
目標達成状況	成果指標1 [%]	予定	平成17年度	平成18年度			
		実績	0.00	0.00			
	成果指標2 [%]	予定	27.10	27.10			
		実績	33.80				
	成果指標3 []	予定					
		実績					
	トータルコスト (千円)	予定		1,356,377			
		実績	1,095,520				
施策の位置付け	区の関与度合	区と住民等との協働。駅周辺の拠点性を高めるために必要なまちづくりは、区民の理解と協力のもと、区民の主体性と区の支援があって成し遂げられるものであるから。					
	区民ニーズへの貢献	非常に大きい。交通結節点としての機能だけでなく、人々が憩い、集う場である駅及び駅周辺は、多くの区民が利用する公共空間であるから。					
	成果向上の必要性	向上必要。都市計画マスタープランに示す多核連携型都市構造を進める上で必要な事業であり、区民の生活利便性や安全性の向上、経済活動の円滑化に大きく寄与するから。					
	成果向上の容易性	容易ではない。拠点形成を図るためには、都市の大規模な改造が必要であり、その場合関係権利者も多く、権利者の合意形成に長期間を要するから。					
位置付け総合評価	継続。駅周辺等を、住み、働き、憩う、賑わいのある拠点とするためには、計画どおり事業を進める必要がある。						
施策目的達成のための事務事業	事業コード	名 称		トータルコスト(千円)	総合評価		
	092401	新小岩駅周辺開発整備事業		21,178	5		
	092402	金町駅南口地区市街地再開発事業		986,357	5		
	092403	立石駅周辺地区市街地再開発事業		43,203	5		
	092404	高砂駅周辺踏切対策に伴うまちづくり調査委託		3,398	5		
	092405	新小岩駅北口道路整備事業		41,384	5		

【総合評価】6=拡充/5=継続/4=改善/3=再構築/2=縮小/1=廃止・休止/0=今回評価なし

コスト分析表

年 度 平成18年度

所 属 21200000

施 策 0924

都市整備部 街づ推進課

駅周辺等拠点の形成

期 間 平成17年度 ~ 平成18年度

(単位：千円)

		NO	平成17年度	平成18年度			
予 定	財源内訳	国庫支出金	(1)		317,400		
		都道府県支出金	(2)		2,800		
		地方債	(3)		0		
		その他	(4)		4,097		
		一般財源	(5)		1,023,341		
	直接費	事業費	(6)		1,025,561		
	職員人件費	人件費	(7)		319,377		
		再雇用職員分	(8)		2,700		
		(職員数：賦課)	(9)		9.71		
		(職員数：配賦)	(10)				
		職員数合計(9)+(10)	(11)		9.71		
	調整額	間接費	(12)		0		
		(加算)減価償却費	(13)		0		
		(加算)金利	(14)		0		
		(加算)退職給与引当	(15)		8,739		
		(控除)コスト対象外	(16)		0		
		(控除)雑収入	(17)		0		
		調整額計 (13)+(14)+(15)-(16)-(17)	(18)		8,739		
		トータルコスト (6)+(7)+(8)+(12)+(18)	(19)		1,356,377		
実 績	財源内訳	国庫支出金	(20)	465,650			
		都道府県支出金	(21)	43,150			
		地方債	(22)	0			
		その他	(23)	67,059			
		一般財源	(24)	506,523			
	直接費	事業費	(25)	1,013,326			
	職員人件費	人件費	(26)	69,056			
		再雇用職員分	(27)	0			
		(職員数：賦課)	(28)	8.32			
		(職員数：配賦)	(29)				
		職員数合計(28)+(29)	(30)	8.32			
	調整額	間接費	(31)	0			
		(加算)減価償却費	(32)	0			
		(加算)金利	(33)	5,650			
		(加算)退職給与引当	(34)	7,488			
		(控除)コスト対象外	(35)	0			
		(控除)雑収入	(36)	0			
		調整額計 (32)+(33)+(34)-(35)-(36)	(37)	13,138			
		トータルコスト (25)+(26)+(27)+(31)+(37)	(38)	1,095,520			

施策名	駅周辺等拠点の形成
-----	-----------

担当課： 街づくり推進課

施策の達成状況

【達成度評価】 各事業とも概ね順調に進行している。

構成事務事業の施策成果貢献度 (事務事業を相対評価し、該当する位置に記載)

事務事業の成果向上の余地	大		新小岩駅周辺開発事業 金町駅南口地区再開発事業 立石駅周辺地区再開発事業 高砂駅周辺踏切対策に伴うまちづくり 新小岩駅北口道路整備事業	
	中			
	小			
		小	中	大
施策成果への貢献度				

構成事務事業の次年度方向性 (事務事業を相対評価し、該当する位置に記載)

事務事業の成果の増減方向	向上	新小岩駅周辺開発事業 新小岩駅北口道路整備事業	金町駅南口地区再開発事業 高砂駅周辺の踏切対策に伴うまちづくり	
	維持	立石駅周辺地区再開発事業		
	減少			
		減少	維持	増加
事務事業のコストの増減				

【次年度方向性の考え方】 駅周辺等が、住み、働き、憩う、賑わいのある拠点とするために、計画どおり事業を進める。
--